

給食だより



令和6年度
11月号

こんげつ とやまけんしよくいくすいしんげっかん
(今月は富山県食育推進月間です)

かぞくいっしょ よ
●家族一緒に読みましょう

氷見市立湖南小学校

こんげつ とやまけんしよくいく すいしんげっかん がっこうきゅうしよく ひ こんだて
今月は、「富山県食育 推進月間」です。学校給食とやまの日献立やゴーセ
ひ こんだてなど ひ み さん とやまけんさん しよくざい つか きゅうしよく
イな日献立等、氷見産や富山県産の食材をたくさん使った給食をいただきます。

た 食べることは、生き物の命をいただき、命をつないでいくことです。また、しよくじ
で き あ りょうり つく ひと のうさくもつ かちく そだ ひと さかな
出来上がるまでに、料理を作る人をはじめ、農作物や家畜を育てる人、魚をとる
ひと しよくざい はこ ひと はんばい ひとなど ひと かか
人、食材を運ぶ人、販売する人等、たくさんの人が関わっています。いただく命や
かか ひとひと かんしゃ きもち わす こころ こ
関わってくださった人々に感謝の気持ちを忘れず、心を込めてあいさつし、食事を
たいせつ
大切にいたしましょう。



「いただきます」「ごちそうさま」に込める感謝の気持ち

にほん 日本では、食事の前に「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」
のあいさつをする習慣があります。それぞれ、どのような意味があるのか
しょうか。



いただきます



「いただく（頂く／戴く）」は、あたま 頭にのせるという意味
があり、みぶん たか ひと もの 身分の高い人から物をもらう時に、頭上に捧げて
けい い あらわ どうさ 敬意を表した動作にちなむ言葉です。自然の恵み、生き物
いのち の命をもらうことへの感謝を表します。

ごちそうさまでした

「ちそう（馳走）」は、しよくじ ようい 食事を用意するためにはし まわ
を意味しており、この食事が出来上がるまでに関わった
ひと かんしゃ きもち こ
人びとへの感謝の気持ちが込められています。



給食を通して地産地消の良さを知ろう！

ちさんちしよく 地産地消とは、ちいき せいさん 地域で生産された農林水産物を、その地域で消費する取り組みです。学校給
食では、ちいき せいさん 地域でとれた「地場産物」をかつよう 活用することで、ちいき せいさん 地域の産業や食文化への理解を深め、
ちいき せいさん 地域への愛着を育むとともに、かんきょうもんだい 環境問題や食料自給率といった課題について
め 目を向ける機会にしたいと考えています。

地産地消の良さとは？



新鮮な旬の味覚を味わ
うことができる



作っている人の顔が
わかり、安心感が
得られる



地域内で資金が還元さ
れ、地域経済の活性化
につながる



農業が活性化すること
で農地が保全され、景
観の維持や洪水の防止
につながる



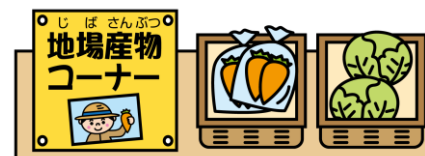
運ぶ距離が短くなり、エ
ネルギーやCO₂排出量
が削減でき、環境に優し
い



エスディーゼス
SDGs（持続可能な開
発目標）の達成に貢献
できる



食品を選ぶ際は、産地や生産者を意識してみませんか？



ちよくばいじょ 直売所や道の駅、スーパーマーケットの地場産物コーナー
などをかつよう 活用しましょう。地場産物の他、自分が応援したい地域や
ひさいち 被災地の産品を選ぶことは、その産地の生産者を応援すること
につながります。